

特集 II

本糖尿病学会でも発表された。また、現在も同研究チームにより研究続行中である。

「バイオアスチン」のタイプはオイルタイプ(7%)、10%、パウダータイプ(2%)及び水溶性タイプ(1%)となっている。

一方、スピルリナは唯一、海洋深層水により大量培養をしていることが大きな特徴で、ハワイ産特有の亜鉛、セレン、ビタミンB12、バナジウムなど栄養成分を多数含んでいる。

α CDは食物中の体に良くなり飽和脂肪酸を選択的に排泄する作用を持つ特別な水溶性難消化性デキストリンであるが、血糖値上昇抑制効果のあるヒト試験等で確

本糖尿病学会でも発表された。また、現在も同研究続行中である。

「バイオアスチン」のタイプはオイルタイプ(7%)、10%、パウダータイプ(2%)及び水溶性タイプ(1%)となっている。

一方、スピルリナは唯一、海洋深層水により大量培養をしていることが大きな特徴で、ハワイ産特有の亜鉛、セレン、ビ

タミンB12、バナジウムなど栄養成分を多数含んでいる。

試験では消化性の炭水化物が50g含まれる白米を食べても、同時に α CDと一緒に摂ることで血漿中のインスリン濃度の変化への影響※を見た。(※血糖値が上昇するほどインスリン分泌が増加する)
 α CDの摂取量は0、2.5、10gの4群に分けた。その結果、摂取量が多いほどインスリン分泌が低く、血糖値上昇を抑制していることが明らかになった。この仕

α CD、包接化Q10+リポ酸 糖の吸収抑制、吸収した 糖はエネルギーに変換

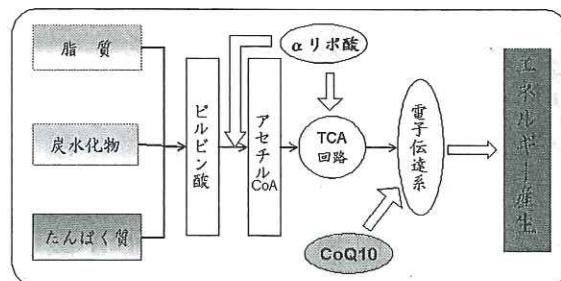
シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、血糖値上昇抑制に効果が期待できる素材として「 α CD(α シクロデキストリン)と「CD包接加工を行ったCoQ10と α リポ酸の組み合わせ」を提案している。

試験では消化性の炭水化物が50g含まれる白米を食べても、同時に α CDと一緒に摂ることで血漿中のインスリン濃度の変化への影響※を見た。(※血糖値が上昇するほどインスリン分泌が増加する)
 α CDの摂取量は0、2.5、10gの4群に分けた。その結果、摂取量が多いほどインスリン分泌が低く、血糖値上昇を抑制していることが明らかになった。この仕

高知大学分子細胞生物学教室はこのスピルリナを用いたマウス使用の生理機能研究の結果を発表し、スピルリナに血糖値降下作用があることを確認した。
 両素材とも、サプリメントを中心には好調に推移しており、今後も原料供給及びOEM製造で積極的に提案していく。

生体内で α リポ酸とCoQ10は相乗的に働く



試験では消化性の炭水化物が50g含まれる白米を食べても、同時に α CDと一緒に摂ることで血漿中のインスリン濃度の変化への影響※を見た。(※血糖値が上昇するほどインスリン分泌が増加する)
 α CDの摂取量は0、2.5、10gの4群に分けた。その結果、摂取量が多いほどインスリン分泌が低く、血糖値上昇を抑制していることが明らかになった。この仕

一方、 α リポ酸はもともと糖尿病薬としてヨーロッパで使用されている。シクロケムは α リポ酸とCoQ10のエネルギー産生作用と抗酸化作用が体内では相乗的に働いていることに着目していることを組み合わせた。

本来、 α リポ酸は食後に摂取した場合の吸収性が低く、CoQ10は逆に食前に摂取した場合の吸収性が低い特徴があり、同時に摂取するには吸収性に問題があった。しかし双方を α CDで包接することで食前食後に関係なく同時に摂取するには吸収性が高まることで、問題が解決した。

包接化Q10と包接化 α リポ酸を配合した末端製品「ナノサプリシクロカプセル化リポ酸」はシクロケムの関連会社であるコサナが取り扱っている。

さらに抗糖尿病素材として知られるギムネマ、苦丁茶、ニガウリ、グアバなどの苦味を取り効果も γ CDは持つおり、飲料向けの製品開発もしやすくなる。